

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19675001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	未踏物性発現を目指した π 電子系化学	研究代表者 (所属・職)	山口 茂弘（名古屋大学・大学院理学研究科・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>当初の研究計画に従って、概ね順調に研究が進展している。まずヘテロ元素の特性を活かした新しいπ電子系化合物を、研究代表者が独自に開発した合成手法により合成した。これらの化合物は目的とする物性をもつように分子設計されており、その中には期待する発光材料としての特性を示す化合物がある。また将来の発展へと繋がる可能性が高いものもある。</p> <p>電子物性に関する成果が少し乏しいが、研究代表者が力を注いでいる理論面からの解明とあわせて、新概念の創出を含めた今後の発展を期待する。</p>	

【平成24年度 検証結果】

検証結果	<p>本研究は、有機エレクトロニクス材料として有望な高効率固体発光、白色発光、高い電荷移動度など優れた光・電子物性を有する新規π電子系分子の開発に成功しており、研究課題名に掲げた「未踏物性発現」とまでは言い難いものの、当初目標は達成している。さらに、安定ホウ素材料や反芳香族性π電子系など新たな分子設計の指導原理も確立しており、論文等の成果発表の面からも十分な成果を挙げたと判断できる。</p>
A	